

科 目 名	総合実習	単 位 数	4 単位	学科・学年	農業総合 科	1 年
使用教科書	なし			副 教 材 等		
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。 (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。					
学 習 評 価	○ 次の3つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①知識・技術	○農具等について、指示通りに扱えるか。また次第に熟練した技術を持つことができるか。 ○実習ノート記録がきちんとまとめられているか。 ○実習を通じて学習した内容について理解しているか。 ○作物の生理・生態について理解しているか。 ○実習を通して農業の各分野に幅広い見識を身に付けているか。				
	②思考・判断・表現	○指示された内容について、その内容を把握してきちんと動くことができるか。 ○指示された内容をさらに進化させ、自ら適切な判断をし、実習に展開できるか。 ○作業方法に工夫が見られ、より効果的なやり方で取り組んでいるか。				
	③主体的に学習に取り組む	○主体的に参加しようとする態度が伺えるか。 ○農具や道具に興味を示し、積極的に取り組もうとする姿勢があるか。 ○さらに強い興味関心を持ち、今後の作業について自ら考えようとする姿勢がある。				
		評価方法\観点	①	②	③	
		学習状況観察	○	◎	◎	
実習ノート		◎	◎	○		
鑑定競技		◎	-	-		
履 修 上 注 意	○実習は週ごとに野菜・果樹・草花の3つの部門をローテーションで行います。 ○危険防止のため、実習服・帽子を着用します。 ○正規の時間割に組み込まれた週3時間（3単位）の総合実習(教科内実習)と放課後や長期休業中に行う教科外実習（時間外実習）の1単位、計4単位で構成されています。 時間外実習は放課後・夏休み・冬休み・春休み等に行います。無断欠席等には注意してください。					

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	
1 学期	4	オリエンテーション 施設、位置、設備の説明 施設野菜(メロン・スイカの栽培管理) ・メロン・スイカの整枝と誘引	4	○集合場所、服装の徹底の確認をします。 ○メロン・スイカの整枝と誘引について学びます。	学習状況観察 (取り組む態度、積極性、技術) 服装 実習ノート提出 (記入内容による理解度、提出状況) 鑑定競技
	5	・メロン・スイカの誘引 ・メロン・スイカの摘葉と側芽の除去	8	○摘葉や側芽の除去について学びます。	
	6	・メロン・スイカの玉つり ・メロン・スイカの収穫・調製	8	○出荷の仕方について学びます。	
	7	・スイカ収穫後のハウスの後片付け	12		
2 学期	8	・メロン収穫後のハウスの後片付け ・トマトの定植準備・定植	28	○ハウス内の清掃や次期メロンの作付け準備を学びます。	学習状況観察 (取り組む態度、積極性、技術) 服装 実習ノート提出 (記入内容による理解度、提出状況)
	9	施設野菜(メロン・スイカの栽培管理) ・メロン・スイカの作付け準備 ・支柱立て ・メロン・スイカの整枝と誘引	10		
	10	・メロン・スイカの玉つり 施設野菜の栽培(葉菜類) ・ハウレンソウの種まき	12	○メロンの果実管理について学びます。 ○露地野菜の栽培について学びます。	
	11	施設野菜(トマトの栽培管理) ・トマトの側芽の除去 ・トマトの誘引 ・スイカの収穫・調製	12	○トマトの側芽除去誘引について学びます。	
	12	施設野菜(トマトの栽培管理) ・トマトの調製・販売 ・トマトの下葉と側芽の除去	12	○施設栽培の暖房効果について学びます。	
3 学期	1	施設野菜の栽培(葉菜類・果菜類) ・ハウレンソウの収穫・調製 ・トマトの調製・販売	10	○露地野菜の収穫・調整について学びます。	学習状況観察 (取り組む態度、積極性、技術) 服装 実習ノート提出 (記入内容による理解度、提出状況)
	2	・ハウレンソウの収穫・調製 ・トマトの調製・販売	10	○トマトの出荷調製販売について学びます	
	3	施設野菜(果菜類) ・トマトの調製・販売	14		
		合計時間数	140		